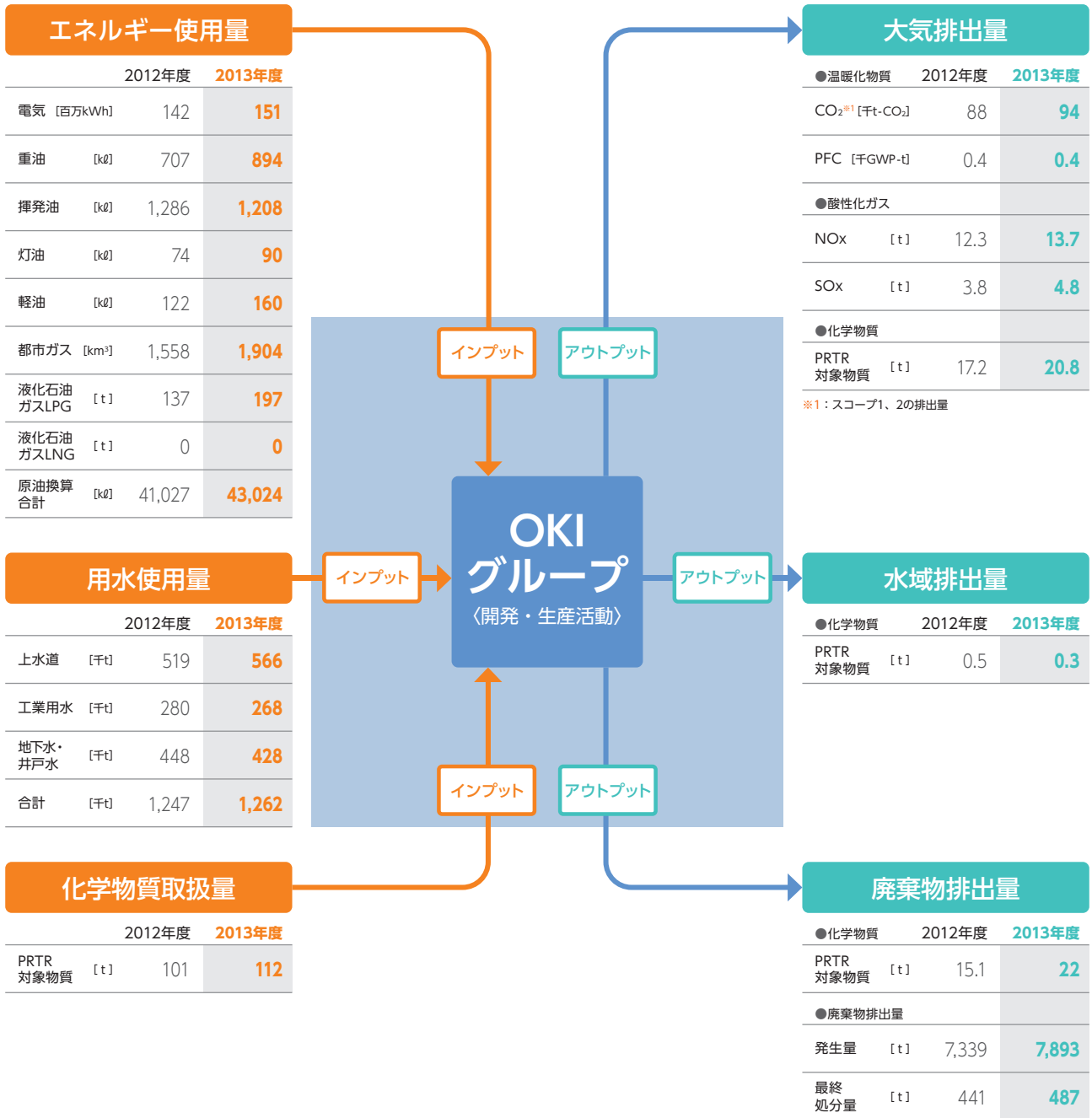


事業活動による環境負荷 (マテリアルバランス)

「インプット」としてエネルギー、水資源、化学物質を消費し、事業活動である開発・生産を行い、「アウトプット」として大気、水域、廃棄物などの環境負荷物質を排出しています。

2013年度は、海外の事業所31社を新たに対象範囲に追加しました。



■スコープ別CO₂排出量

地域	分類	年度	排出量(千t-CO ₂)
国内	スコープ1(直接排出)	2012	10.3
		2013	11.1
	スコープ2(間接排出)	2012	60.4
		2013	65.7
	スコープ3(その他間接排出)*2	2012	4.5
		2013	6.5
海外	スコープ1(直接排出)	2012	1.3
		2013	1.5
	スコープ2(間接排出)	2012	16.4
		2013	15.2

※2: 製品および廃棄物の輸送

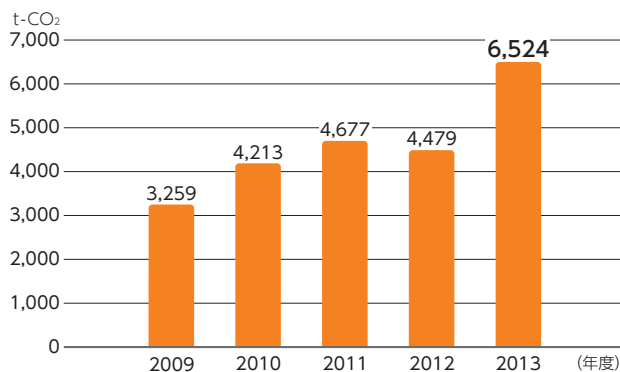
商品および事業活動における環境負荷の低減

OKIグループでは、環境保全に貢献するため、商品および事業活動における環境負荷低減に努めています。

物流の環境負荷低減

OKIの物流事業を担うOKIプロサーブでは、輸送時のCO₂排出量を削減するため、モーダルシフトに早期から取り組んできたほか、運送情報をデータベース化し、省エネルギー法で要求されるデータを集計しています。2013年度は、モーダルシフトによるCO₂排出削減量は612t-CO₂ (前年度比13%増) となりました。輸送活動全体でのCO₂排出量は、生産量増加などにより、6,524t-CO₂ (前年度比46%増) となりました。

■輸送活動におけるCO₂排出量



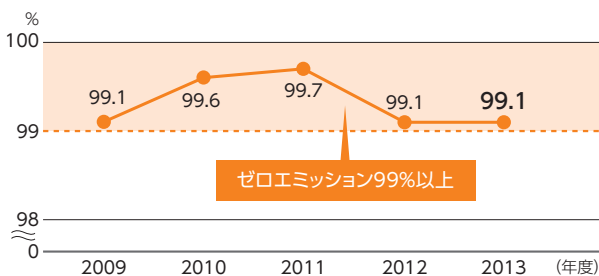
再資源化の推進 (ゼロエミッション)

OKIグループは、生産拠点などで発生する廃棄物を適切にリサイクルし、再資源化率^{※1}の向上に取り組んでいます。2002年には、主要生産拠点においてゼロエミッション^{※2}を達成し、継続して取り組んでいます。2013年度は、再資源化率99.1%となりました。

※1 再資源化率：再資源化量 / (再資源化量 + 最終処分量) × 100

※2 ゼロエミッション：OKIグループは、再資源化率99%以上をゼロエミッションと定義。

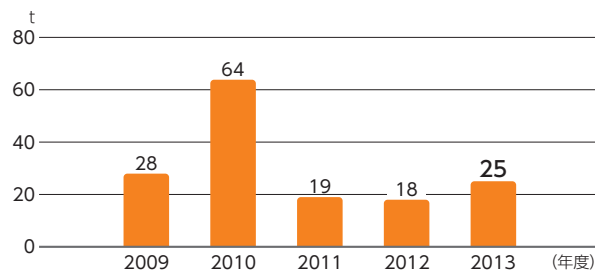
■主要生産拠点の廃棄物再資源化率推移



廃棄物最終処分量

OKIグループの2013年度の主要生産拠点から排出される産業廃棄物と一般廃棄物を合わせた廃棄物最終処分量は生産量の増加などにより25tとなりました。

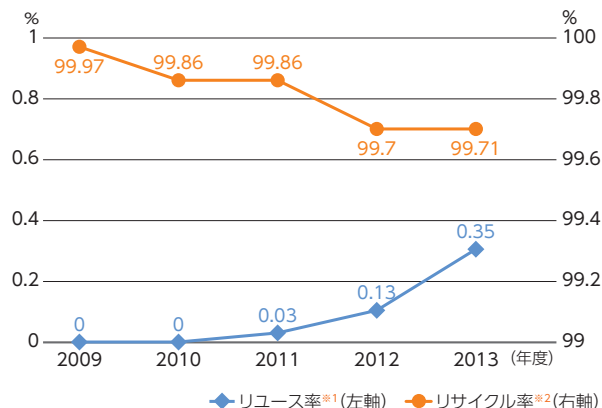
■主要生産拠点の廃棄物最終処分量推移



使用済み製品のリサイクル

OKI、OKIデータおよびOKIカスタマドテックは、環境省より2006年6月に取得した産業廃棄物広域認定制度を積極的に活用し、使用済み製品のリサイクルに取り組んでいます。2013年度のリサイクル率は99.71%となりました。

■使用済み製品のリサイクル実績



※1 リユース率：回収された使用済み製品のうち、リユースされた割合 (質量)

※2 リサイクル率：回収された使用済み製品のうち、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクルおよびリユースされた割合 (質量)

環境配慮型製品・サービス

OKIグループは、環境に配慮した製品やサービスをお客様に提供しています。

オフィスの省電力化を支える無線LAN対応複合機 [MC562dnw] / [MC362dnw]

OKIデータは2013年10月、省エネルギー性能に優れたA4カラーLED複合機 [MC562dnw] と [MC362dnw] を発売しました。本製品は、独自開発の集積回路「Green ASIC」を搭載し、スリープモード時の消費電力を1.5W未満に抑えています。また、「ワンタッチ節電ボタン」でパワーセーブモードへの切り替えや「オートパワーオフ機能」なども備えています。さらに、消費電力量がより厳しい基準に改訂された最新の「国際エネルギースタープログラム」に適合しています。LEDプリンタならではの高性能と装置寿命5年または約42万ページ印刷 (MC562dnw) という高耐久性も装備しており、小規模オフィスや店舗といった狭いスペースにも設置可能なコンパクトサイズの複合機です。

モバイル端末からプリントしたい、というニーズにお応えし、iPhone、iPadなどのiOS端末からダイレクトにプリントが可能な無線LAN機能も搭載しています。



無線LAN対応 [MC562dnw]

省エネルギー機能により消費電力を最大30%削減した オフィス・コミュニケーションシステム [CrosCore]

OKIは、中小規模オフィスのコミュニケーションを支える構内電話交換機 [CrosCore (クロスコア) シリーズ] を2013年4月に販売開始しました。本装置はさまざまな省エネルギー機能を備えており、お客様の電力使用量の削減に貢献します。夜間時間帯や会社の長期休暇など電話を使用しない時間帯は電話機への給電を自動で停止し省エネルギーモードに移行します。また、長時間電話機が接続されていない状態を自動で検出し電話機への給電を停止する機能やバッテリー駆動時のパワーセーブモード機能も備えています。こうした省エネルギー機能により、消費電力を最大30%削減します。

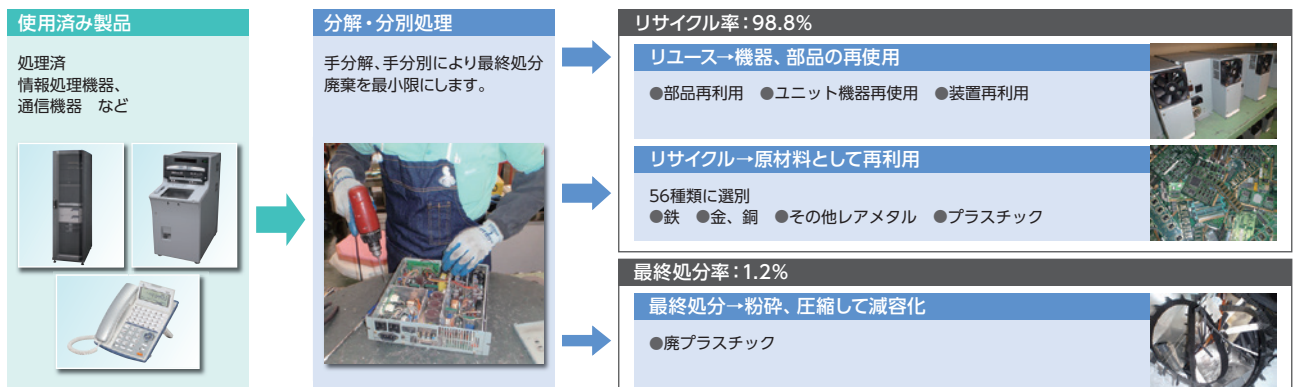


[CrosCore シリーズ]

使用済み製品のリサイクル処理を推進

OKIカスタマードテックは群馬県玉村町に産業廃棄物中間処理施設を設け、「産業廃棄物広域認定制度」(p23参照) を積極的に活用し、使用済み製品のリサイクル向上に貢献しています。情報通信機器やプリンタなどを中心に年間約900t処理しており、廃棄物を56種類に選別するなどきめ細かな選別作業により、最終処分率を持ち込み量全体の1.2%まで低減させています。また、部品やユニットの再利用 (リユース) にも取り組んでいます。セキュリティ面では、機密情報を消去するために適切な手順を構築し、お客様に安心をご提供しています。

■OKIカスタマードテックのリサイクルの流れ



環境会計

OKIグループは、1999年度より環境会計を導入し、投資効果を最大限に活かした効率的な環境保全活動を行っています。

環境保全コスト

OKIグループはインフラ設備の更新や新規導入の際に、環境負荷の少ない機器を選定した上で、設備投資を実施しています。2013年度の投資額は、13.32億円（前年度3.13億円）、費用額は、9.45億円（前年度12.37億円）となりました。

■投資額／費用額

(単位:百万円)

分類	主な取り組み内容	投資額		費用額	
		2012	2013	2012	2013
事業エリア内コスト	公害防止コスト	26	89	64	61
	地球環境保全コスト	145	1,215	50	253
	資源循環コスト	39	12	263	264
	計	210	1,316	377	579
上・下流コスト	グリーン調達（化学物質調査）費用、製品含有化学物質集計システム改造費用	77	11	183	97
管理活動コスト	環境マネジメントシステムの認証取得および維持管理費用	25	4	243	220
研究開発コスト	製品の省エネルギー化の研究開発費	1	0	430	46
社会活動コスト	工場緑化費用、地域貢献活動費用	1	0	3	3
環境損傷コスト	環境の損傷に対応する引当金繰入、保険料および賦課金	0	0	1	1
その他コスト	—	0	0	0	0
合計		313	1,332	1,237	945

環境保全コストに係わる効果

各事業所において、さまざまな対策によりエネルギー使用量の削減に努めましたが、生産量増加に伴い経済効果額は1.23億円（前年度2.91億円）に減少しました。

■経済効果額

(単位:百万円)

分類	主な取り組み内容	効果額	
		2012	2013
費用削減効果	省エネルギー・省資源効果	-18	-180
	処理費削減効果	20	-10
実収入効果	事業活動から排出される廃棄物の有価売却	286	310
	廃製品の有価売却	3	3
合計		291	123

■環境保全効果

環境負荷指標	負荷量		前年度との差
	2012	2013	
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	88,444	93,540	5,096
廃棄物排出量 最終処分量(t)	441	487	46

〈集計の条件〉

- ① 環境保全コストとそれ以外のコストが複合したコストは、環境保全に係わる部分だけ集計しています。
- ② 投資額の減価償却は、3年間の定額償却により計算し費用額に含めています。それに伴う経済効果額は減価償却期間（3年間）と整合させ計上しています。
- ③ 費用額のうち人件費は、環境保全業務に従事した時間により按分しています。
- ④ 実収入効果は、本年度の値を集計しています。

環境保全活動の主な取り組み事例

環境会計で集計した、投資額、費用額、経済効果額についての主な取り組み事例について紹介します。

■OKIグループ国内主要事例

(単位:千円)

分類	主な取り組み事例	金額	拠点
投資額	特高変圧器更新	534,000	富岡地区
	老朽化建物の解体費用	253,000	高崎地区
	熱源機器更新	167,000	高崎地区
	照明器具更新	107,600	本庄地区
	空調機更新	62,000	本庄地区
費用額	廃棄物処理委託費用	113,204	OKIプリンテッドサーキット
	環境設備運転監視費用	73,692	高崎地区
	廃棄物処理委託費用	47,415	富岡地区
	外壁遮熱塗装費用	19,960	沼津地区
	環境配慮型製品の開発費用	14,081	OKIデータ
経済効果額	高効率機器の導入による省エネルギー効果	12,627	富岡地区
	空調冷凍機のインバータ化による省エネルギー効果	1,882	OKIサーキットテクノロジー
	高効率機器の導入による省エネルギー効果	1,750	本庄地区
	空調設備のインバータ化による省エネルギー効果	1,558	OKIメタルテック
	電力使用量の管理強化	1,150	OKIマイクロ技研

■OKIグループ海外主要事例

(単位:千円)

分類	主な取り組み事例	金額	拠点
投資額	空調更新	30,000	日沖電子科技（昆山）有限公司
	生産設備購入および改造費用	10,226	東莞沖美億電子有限公司
費用額	照明器具更新	6,000	日沖電子科技（昆山）有限公司
	空調設備維持管理費用	1,938	OKI Data Manufacturing (Thailand)
	緑化計画費用	1,636	OKI (UK)
	環境設備運転監視費用	1,190	日沖電子科技（昆山）有限公司

*換算レート 159.45円/€ 3.19円/Baht